

サラセーヌUNシステム エヌケイマテリアルが説明会



防水塗材建材商社のエヌケイマテリアル(株) (田中達徳社長、福岡市博多区板付2-5-11) は19日、「サラセーヌUNシ

ステム説明会」(写真)を鳥栖市のJ.A.さがグリーンパレスにおいて開催、取引関係者ら40人が参加した。

主催者挨拶で田中社長は「施工店の話を聞くと職人がいないという声が多く、少しでも皆さんの負担を軽減できればと1年前からUNシステム導入の準備にかかり、今年5月に九州初上陸となった。親会社では5台導入して実績も多数あり、施工効率を格段に向上させている。参考にして頂ければ有り難い」と述べた。

説明会では、UNマシンのシステムの目的や省力化、品質向上、施工効率の比較、ペランダや屋上での施工例、オペレーター付き・レンタルシステムについて紹介した。特に、省力化については、①材料の荷揚げ荷下ろしが不要(平場材)②材料の缶切作業が不要(同)③材料の攪拌作業が不要(同)④缶潰し作業が不要(同)等のため、施工人口の削減や工期短縮で効率が大幅にアップするほか、コンピュータ制御による材料配合のため硬化不良がないとしている。

補地

二本構想案

に基本構想を策定する。「旧庁舎周辺」(敷地面積6169㎡)は、建設等に係る経費(概算事業費)が低く抑えられ、33年12月での工事完了が見込まれる。「六ツ角周辺」(6932㎡)は市の中心市街地にあり、コンパクトシティが実現可能などのメリットがあるとしている。

新庁舎の延床面積は6500㎡(7000㎡(旧庁舎は6453㎡)を想定。構造は「免震構造」が考えられるが、経済性や地盤条件などの検査

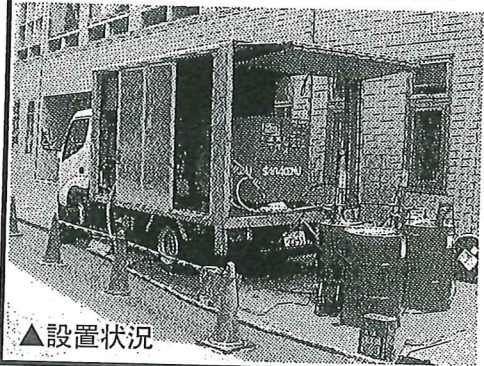
討が必要のため、設計の中で決定する。概算事業費は「旧庁舎周辺」が38億3000万円、「六ツ角周辺」が約39億7500万円(既存施設の改修)約44億3200万円(新設)と試算。事業スケジュールは「旧庁舎周辺」の場合、今年度中に基本構想を策定、31年度前期にかけて設計を行い、31年度後期から建築工事に着手、33年度までに外構工事、移転も含め完了する。「六ツ角周辺」の場合は、今年度から基本構想策定及び用地交渉等に着手し、31、32年度に設計、33年度から工事を行い、移転・旧庁舎解体も含め35年4月の事業完了を想定している。

例えば、屋上平場の人口(出面)比較(1000㎡の場合)では、石油缶使用の場合は9人(日/人)必要だが、UNマシン利用の場合は4人(同)と半分以下となっている。

この件の問合せは、同社・電話092-1571-7045番まで。

ウレタン流し延べ機械圧送システム

オペレーター付き UN圧送システム 九州初導入!!



▲設置状況

システム一式が2トン車で移動
作業人員を大幅削減
コンピュータ制御・監視により、
安定した高品質を実現

圧送機本体、ホース、発電機をコンパクトにまとめた車載タイプのUNシステムは、現場への移動が早くて簡単。さらに、コンピュータ制御による材料配合の制御と監視を実現。作業手順の簡略化とあいまって小人数作業が可能です。

防水塗料建材総合商
エヌケイマテリ

代表取締役 田中達
本社：福岡市博多区板付2丁目
TEL092(571)
久留米営業所：久留米市国分1丁目
TEL0942(22)
大分営業所：大分市三佐1丁目
TEL097(50)
宮崎営業所：宮崎市阿波岐原町
TEL0985(7)